

ガイダンス

—CIAの魅力—

◆ 本ガイダンスの到達目標

⇒何のためにこのガイダンスに参加し、このガイダンス終了後に何がわかるようになるのか。そして、その結果が意思決定にどの様に影響するのか。

<本ガイダンスの内容>

- 1、CIAの魅力
- 2、学習内容と実務
- 3、試験制度・難易度
- 4、学習 —独学 or TAC—
- 5、事務的アナウンス

⇒本ガイダンス終了後

皆さんの人生設計の中でCIAを取得することの意味、及びそれに対するコスト（金銭的及び失う時間など）を理解することにより、正しい意思決定を行うことが出来るようになる。＝ 情報提供の意味・意思決定支援

留意点

CIAの魅力を理解することと、TACで受講することの意味は、別次元の事と理解すべきである。まずCIAの魅力を理解し、その上でTACで受講することの意味を理解する必要がある点に留意して頂きたい。

<意思決定のステップ>

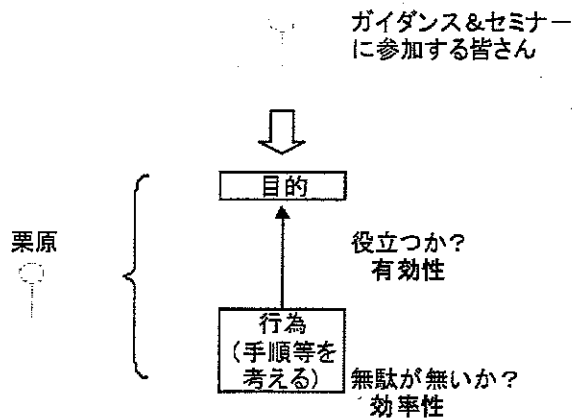
- Step1 CIA の魅力を理解する
- Step2 自分の状況における CIA の活かし方の検討及びコストの検討
- Step3 TAC に対する投下額とベネフィットの比較



上記のプロセスにつき、有用な情報を本ガイダンスでは提供する。提供すべき情報は情報利用者の意思決定有用性を重視する必要がある。この情報利用者優先の思考は、私の講義の中でも一貫して貫かれる。また、この思考は国際会計の根底にあるものでもある。

<有効性と効率性の概念>

- ・ 有効性 ⇒ ある行為が目的達成に意味あるものであるという程度
- ・ 効率性 ⇒ ある行為が無駄なく行われているという程度



1、CIAとは

⇒ 内部監査に関する専門家としての国際ライセンス

(1) 内部監査の役割 —主たる役割— <セミナー編に続く>

(2) 内部監査の役割 —現在のブーム—

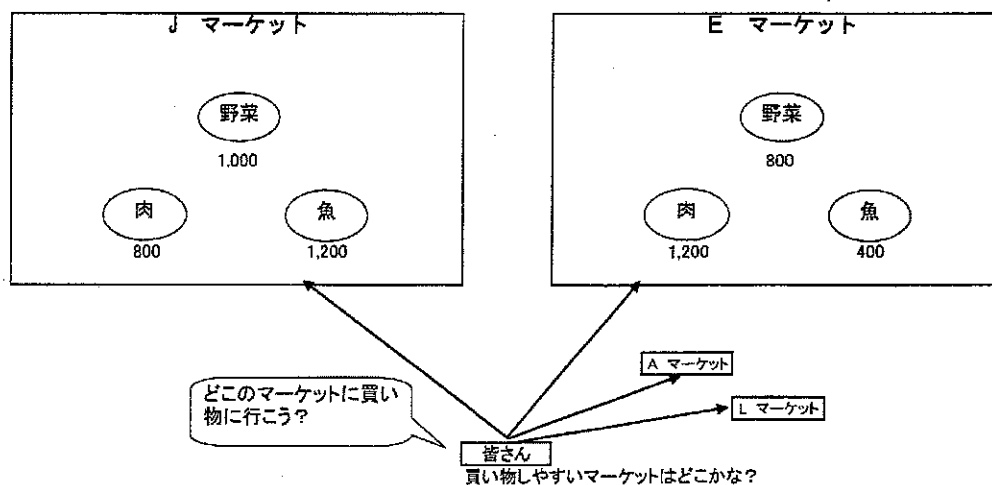
⇒ 内部監査が現在、社会的にクローズアップされている理由

「財務報告の信頼性の確保」のため

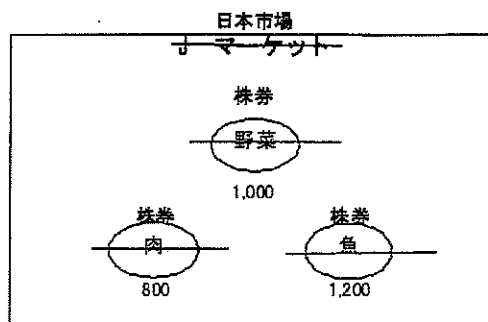
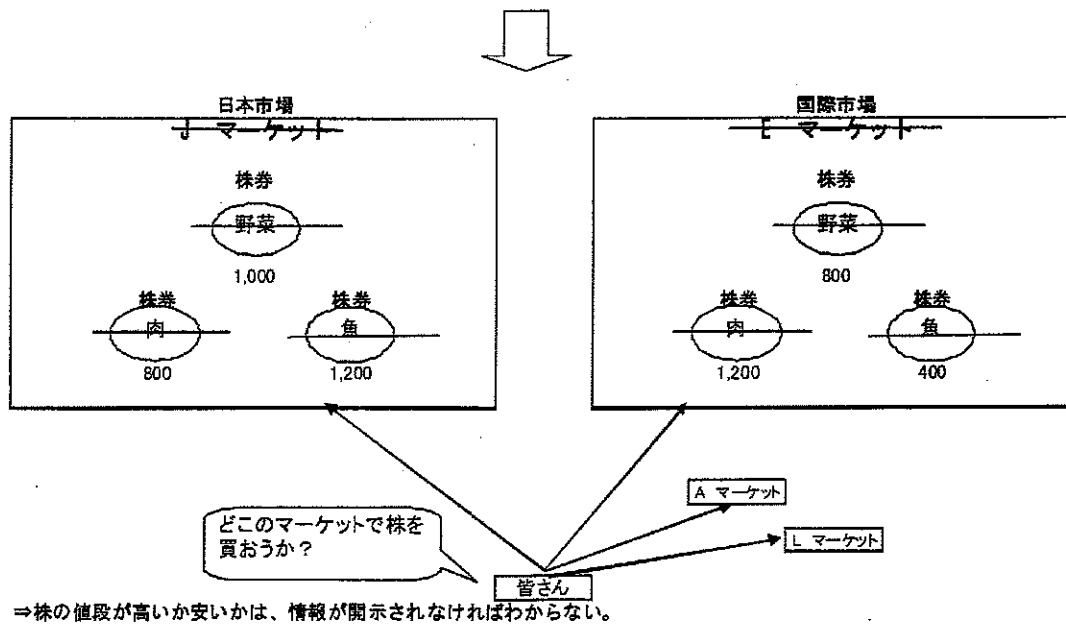
財務報告の信頼性について分かり易く説明すると以下のようになる。

Ex.

自分が何か物を買いにマーケットに行くことを想定する



生産地、賞味期限など、情報が無ければ買い物出来ない。
 ということは、扱っている商品のレベルが同じなら、一番情報が見易く開示されているマーケットが、一番買い物しやすい。
 …要するに、情報を誤解して変なものを買うことはない。
 もし変なものを、誤解や騙されて買ってしまった場合は、そのマーケットの信頼は落ち、他の人もそのマーケットでは買い物しなくなる。
 買い物をする人が比較しやすいように、情報の開示を全てのマーケットで同じ基準でやるべきなのか？
 それとも、他のマーケットとは違っても、自分たちが正しいと思う報告をすべきなのか？



もし、情報開示のレベルが低ければ、皆さんは間違えた株券を買ってしまう。皆さんは騙されたと思って、日本というマーケットでは買い物をしなくなる。

株を買うということは、企業の資金調達に協力するということであり、皆さんが株を買わないということは、日本経済そのものの低迷に繋がってしまう。

Q.日本は世界基準に合わせるべきなのか？
 または、自らにあった独自のルールを貫くのか？

近年、このような情報開示に不正が多く見つかったり = 日本市場全体の不信感に繋がってしまう

⇒ 財務諸表が正しく作成されているかをチェックすることを監査といい、公認会計士の業務である
 この財務諸表監査が近年極めて重要視されている

この公認会計士監査の成否及びコストは、企業の中に不正を起こさせない仕組・ミスが生じない仕組がどれだけあるかにかかっている。この仕組・プロセスが内部統制であり、この監査を行うのが内部監査人なのである。

2、学習内容と実務 パンフレットにて（オプション講座・WEBがより充実）

3、試験制度・難易度 パンフレットにて

4、学習 -独学 or TAC-

 <合格に必要な作業>

- | | | |
|---------------|---|---------------------|
| ① 試験制度の確認 | } | 他人でも出来る部分
TACが行う |
| ② 試験の傾向分析 | | |
| ③ 傾向に応じた資料の準備 | | |
| ④ 具体的な学習 | | ←自分でしか出来ない |

皆さんがTACから購入するもの ⇒ 受験サポートサービス

しかし、その本質は、「④の学習時間の購入」である。

時間資源の配分につき、投資分野を選択し、集中を行う必要がある。

 選択と集中の概念（企業戦略の一つ）